SystemGear
Always the next news

BK0037A01-9

Mobile data Entry Terminal

SystemGear MET-1000
取扱説明書

このたびは、モバイルデータエントリーターミナルＭＥＴ－１０００をお買い上げいただきありがとうございます。
本書では、ＭＥＴ－１０００の取り扱いや注意事項について説明しています。

この取扱説明書をご使用の前によく読んでご理解の上、正しくお使いください。
ご使用になる人やその他の人への危害や財産への損害をあらかじめ防止するため、本製品のご使用の前に必ず本項の内容をよくお読みになり、必ずお守りくださるようお願いします。
お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全上の注意事項

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で説明しています。
■お守りいただく内容の種類を次の絵区分で説明しています。

表記の説明

危険	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は「損害を負う可能性または、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

図記号の説明

禁止	この記号は、行為を強制したり内容を告げるもので、図の中に具体的な指示内容が描かれています。
指示	この記号は、行為を強制したり内容を告げるもので、図の中に具体的な指示内容が描かれています。

重要　使用上で、必ず守らなければならない注意事項・制限事項を示しています。

注記　使用上・操作上の注意を示しています。

参照　参照するマニュアルの名称を記載しています。

危険

	可燃性物質（ガス、火薬等）が発生する場所では使用しないでください。 破裂・発火のおそれがあります。

警告

	レーザービームをのぞきこまないでください。 長時間直視すると、レーザー光によって目に傷害が起こるおそれがあります。
	歩行中または運転中に操作しないでください。 転倒や交通事故などの原因になります。
	この装置を分解したり改造したりしないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
	ハンドストラップを持って振り回したりしないでください。 けがなどの事故や破損の原因になります。
	乾電池をショート・+−の逆挿入・加熱・分解・火に入れるなどしないでください。液漏れし目に入ったり、発熱・破裂などの原因となります。万一、液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流し、目に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。

注意

	異なる種類の電池を混ぜて使わないでください。 電池からの液漏れで製品が腐食し、故障の原因となります。
	機器が動作しなくなった場合は速やかに電池を取り出し、地域で定められた条例に従って、処理してください。 電池からの液漏れで製品が腐食し、故障の原因となります。
	長期間使用しない場合は、電池をぬいて保管してください。 電池からの液漏れで製品が腐食し、故障の原因となります。
	強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
	小児には使用させないでください。
	充電は必ず０～４０℃の温度範囲内で行ってください。
	充電方法については本書をよく読んで行ってください。
	直接日光のあたるところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面など高温の場所に放置しないでください。
	専用リチウムイオン充電池(MLB-1000)の保管の際は装置から取り外して０～４０℃の湿気の少ないところに置いてください。
	ブザー穴に針など先の尖った物を挿入しないでください。防水シートが破損し、防水性能が無くなります。
	寒い場所から暖かい場所へ移すと結露することがあります。万一結露した場合には、付着した水滴が蒸発するまで、本機の使用を控えてください。
	乾電池等の交換は、必ず電源をＯＦＦしてから行ってください。
	赤外線インターフェイス部分には、傷をつけないでください。 また、ゴミや油などが付着すると、MCD-1000シリーズと本機との通信がおこなえないない場合がありますので、ときどき清掃してください。
	長時間日光に当たる場所や高（低）温になるところには放置しないでください。
	指定以外の電池を使用しないでください。

注記

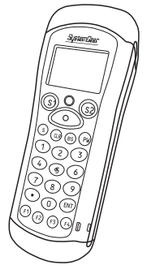
■万一の故障、事故、修理および電池交換時の際のデータ保護、ならびにいかなる損害の保証についても、弊社では一切その責任を負いかねますので、ご注意ください。

■この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

梱包内容の確認

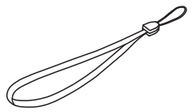
お買い求めいただいたパッケージには以下のものが梱包されています。お使いになる前に必ずご確認ください。なお梱包には万全を期しておりますが、万一不足品や破損品がありましたらお買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

MET-1000本体・・・1



単三アルカリ乾電池・・・2

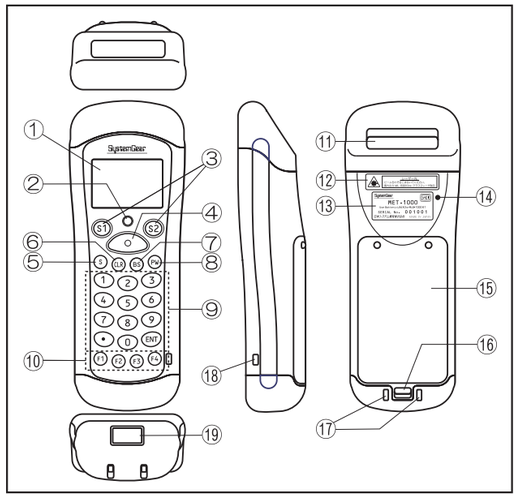
ストラップ・・・1



取扱説明書（本紙）・・・1

各部の名称

MET-1000の各部の名称と機能について説明します。



① 液晶表示部・・・・・・・メニューや入力データをプログラムで自由に表示することが出来ます。
② LED・・・・・・・・・・ バーコードを読み取った時や作業者への指示を自由にプログラムで表すことが出来ます。
③ スペシャルキー・・・・・プログラムで自由に割り付ける事が可能です。
④ トリガキー・・・・・・・バーコードの読み取り用として使用します。
⑤ シフトキー・・・・・・・プログラムで英数字を入力する時などに使用します。
⑥ クリアキー・・・・・・・プログラムで自由に割り当てる事が可能です。
⑦ バックスペースキー・・・プログラムで自由に割り当てる事が可能です。
⑧ 電源キー・・・・・・・・電源をON／OFFするスイッチです。
⑨ テンキー・・・・・・・・数値を入力する時に使用します。
⑩ ファンクションキー・・・プログラムで自由に割り当てる事が可能です。
⑪ バーコード読取口・・・・バーコードを読み取る為のレーザーを発光／受光します。
⑫ 注意ラベル・・・・・・・レーザー注意ラベル
⑬ 銘板・・・・・・・・・・MET-1000機銘板
⑭ ブザー穴・・・・・・・・ブザー音用の穴です。
⑮ 電池蓋・・・・・・・・・主電池の交換時にこの蓋を開け電池を交換します。
⑯ 電池蓋ロック・・・・・・電池蓋をロックします。
⑰ 充電端子・・・・・・・・MCD-1000シリーズへ搭載時に充電します。（主電池にMLB-1000使用時）
⑱ ストラップ取付穴・・・・ストラップを取り付ける穴です。
⑲ IrDAポート・・・・・・・MCD-1000シリーズを経由してパソコン等との通信に使用します。

電池について

MET-1000は、主電源として単三アルカリ乾電池または専用リチウムイオン充電池（MLB-1000）、副電池としてコイン型二次電池を使用しています。

乾電池
市販の単三アルカリ乾電池2本を使用します。

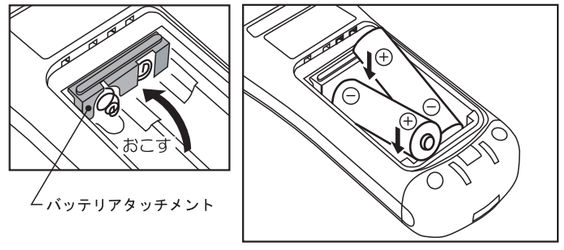
充電池（MLB-1000）
注記　充電池は、MET-1000専用のリチウムイオン充電池（MLB-1000）以外使用しないでください。

副電池
MET-1000に内蔵されているメモリ・時計用のバックアップ用二次電池です。本電池の交換は出来ません。MET-1000に主電池を装着すると主電池より充電されます。

電池挿入方法

重要　MET-1000の電池を交換する際は、必ずMET-1000の電源をOFFしてから交換してください。

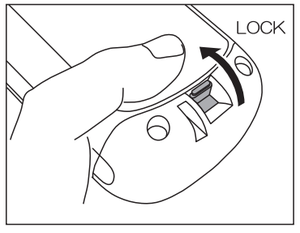
■単三アルカリ乾電池挿入方法
① MET-1000の電池蓋ロックを開け、電池蓋を開けます。
② MET-1000より電池を外します。
③ 新しい単三アルカリ乾電池を挿入します。



注記　アルカリ乾電池挿入時+−を間違えないよう挿入してください。

重要　単三アルカリ乾電池を使用する場合、必ずバッテリアタッチメントを起こしてください。

④ MET-1000の電池蓋を閉め電池蓋をロックします。

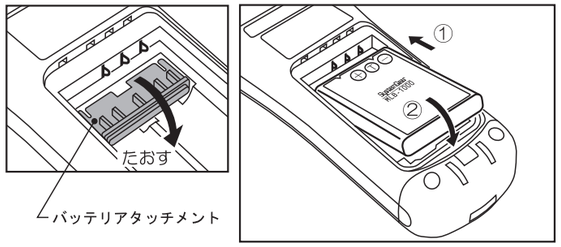


注記　電池蓋をロックする時は、電池蓋の下側（ロック部上側）を指で押さえ、電池蓋ロックをLOCK方向に押してください。

重要　単三乾電池は、必ずアルカリ乾電池を使用してください。

■充電池挿入方法

① MET-1000の電池蓋ロックを開け、電池蓋を開けます。
② MET-1000よりMLB-1000を外します。
③ 十分に充電されている専用リチウムイオン充電池（MLB-1000）を挿入します。



重要 専用リチウムイオン充電池（MLB-1000）を使用する場合、必ずバッテリアタッチメントをたおしてください。

重要 専用リチウムイオン充電池（MLB-1000）を使用する場合、必ず図の①の方向から挿入してください。

④ MET-1000の電池蓋を閉め電池蓋をロックします。

充電方法

■MCD-1000シリーズによる充電

専用リチウムイオン充電池（MLB-1000）使用時にMCD-1000シリーズへ搭載すると充電を開始します。

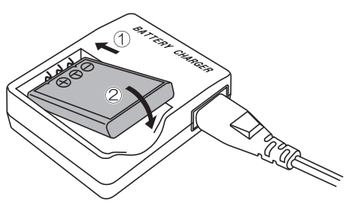
充電中はMET-1000のLEDが赤く点灯し、充電中である事を表示します。
充電が完了するとLEDが消灯します。

注記 MET-1000の電源がONの状態でMCD-1000シリーズに搭載した場合、MET-1000のLED点灯しません。
ユーザーアプリケーションから充電中を参照するための専用ライブラリをご用意しています。

参照 詳細は、MET-1000リファレンスマニュアルをご参照願います。

■MRC-1000（専用急速充電器）による充電

専用リチウムイオン充電池（MLB-1000）を急速充電する場合、専用の急速充電器（MRC-1000）で充電を行います。

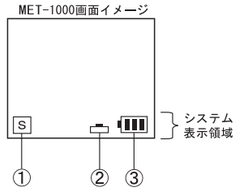


重要 専用急速充電器（MRC-1000）で充電する場合、必ず図の①の方向から専用リチウムイオン充電池を挿入してください。

システム表示

■システム表示領域

画面最下行に表示されます。
表示内容は、下記の通りです。
①シフト押下状態：
シフトキーが押されると表示します。
②副電池ローバッテリ：
副電池残量が空になると表示されます。
③主電池残量：
主電池の電池残量を表示します。



システム表示領域は、設定により表示の有無を設定できます。
主電池残量マークに関しては、表示の有無に関係なくローバッテリになると点滅表示します。

参照 設定方法は、MET-1000リファレンスマニュアルを参照ください。

■電池残量について

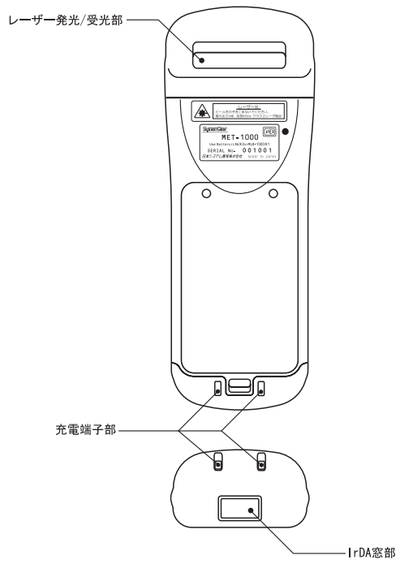
電池残量マークをシステム表示領域に表示します。
電池残量が④の"ほとんど残っていない"になると、電池残量マークが点滅します。
電池残量マークは、専用ライブラリ関数により表示の有無を設定する事ができます。
（④の状態になると、設定の有無に係わらず必ず点滅表示します）

① 十分残っています。
② 減り始めました。
③ 少なくなっています。
④ ほとんど残っていません。

注記 電池残量が空(④)のマークを表示したら速やかに電池を交換してください。
電池残量表示は、電池の種類や使用状況・使用時間・環境条件等により変動する場合があります。

日常のお手入れ

MET-1000の下記の部分は、定期的に清掃してください。
清掃はアルコールを湿した柔らかい布か綿棒で軽く拭き取ってください。



仕様

項　目	仕　様	
ＣＰＵ	32ビットRISC CPU	
メモリ	FROM	4Mbyte
	SRAM	2Mbyte
表示器	表示素子	FSTN半透過型LCD
	文字構成	12ドットフォント 16ドットフォント
	文字数	12ドットフォントモード： 半角20桁×6行 漢字10桁×6行 16ドットフォントモード： 半角14桁×5行 漢字7桁×5行
	ドット数	横120ドット×縦80ドット
	文字種	JIS第一水準/第二水準,ANK
	バックライト	あり
	コントラスト	調整可能
入力部	キー式	23キー： テンキー,トリガ,BS, シフト,CLR,ENT,PW, ファンクション×4, スペシャルキー×2
表示ＬＥＤ	２色発光素子1個（赤・緑）	
バイブレーション機能	あり	
ブザー	周波数	周波数可変
通信インターフェース	IrDA1.2準拠	
ＲＴＣ（時計）	あり	年月日時分秒
電源	主電池	単三アルカリ乾電池×2本 or 専用リチウムイオン充電池
	副電池	コイン型マンガンリチウム 二次電池
バーコードスキャナ	発光素子	可視半導体レーザー（650nm）
	最小分解能	0.127ｍｍ
	読取距離	25～360ｍｍ
	読取コード	WPC(JAN/EAN/UPC) CODE-39 NW7 Industrial 2of5 Interleaved 2of5 CODE-93 CODE-128 EAN-128 RSS-14 (GS1 DataBar Omnidirectional) RSS Limited (GS1 DataBar Limited) RSS Expanded (GS1 DataBar Expanded)
開発環境	C言語	
質量	１６０ｇ以下　（単三アルカリ乾電池含まず）	
寸法	(W)56±1 × (L)150±1 × (D)33±1 mm	
環境条件	動作	-10℃～50℃ ※1 30%RH～80%RH
	保存	-20℃～60℃ 20%RH～85%RH

※1．充電する場合は、0℃～40℃。

お問い合わせ

日本システム開発株式会社
技術的なお問い合わせは support@nsd-inc.co.jp(サポートデスク)
最新情報は http://www.systemgear.com (弊社ホームページ)

● 本書の著作権は日本システム開発株式会社が所有しています。
● 本紙記載製品の販売・生産・保守について、予告・通知なく中止することがあります。
詳しくは、下記弊社ホームページをご覧ください。
http://www.systemgear.co.jp/support/stop/index.html
● 製品の仕様、規格及び外観は、改良の為、予告なく変更することがあります。
● 保守対応期間は、弊社販売中止から基本5年間ですが、諸事情により異なる場合があります。
● 弊社の保守サービスを受けるには、ユーザー登録が必要です。
● ユーザー登録は、下記弊社ホームページから登録してください。
https://www.systemgear.com/support/regist/web-form.html

JULY 15,2010 第9版
BK0037A01-9

保証規定

この規定は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。

1．この製品は当社の厳密な製品検査に合格したものです。
2．取扱説明書に従って正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合はお買上げの販売店または、保証書に記載の送り先まで修理品と共にお送りください。
無償修理させていただきます。
3．保証範囲は本体および付属機器に限らせていただきます。
（ケーブルは、保証範囲外となります）。
4．保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
(1)保証書にご購入日の記載がない場合
(2)お客様による輸送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合
(3)火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合
(4)本製品に異常がなく、他の機器に起因して本製品に故障が生じた場合
(5)当社以外で修理、調整、改造され、それが原因となり故障した場合
(6)お客様側の希望により、ソフトウェア（ＲＯＭ）をバージョンアップする場合
5．この規定は、日本国内においてのみ有効です。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

保　証　書

修理の場合は必ず、この保証書を添えてご依頼ください。

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された期間、条件のもとにおいて修理をいたします。

製品名	MET-1000- -	シリアルNo.	
	本機裏面の機銘板に記載しております。		
会社名			
お名前	フリガナ		
ご住所	〒 TEL:(　　)　　-		
保証期間	弊社出荷日より1年 ご購入日を記述してください。　　年　　月　　日 ユーザー登録をして戴きましたら、ご購入日より１年とさせて頂きます。		

SystemGear Always the next news　日本システム開発株式会社